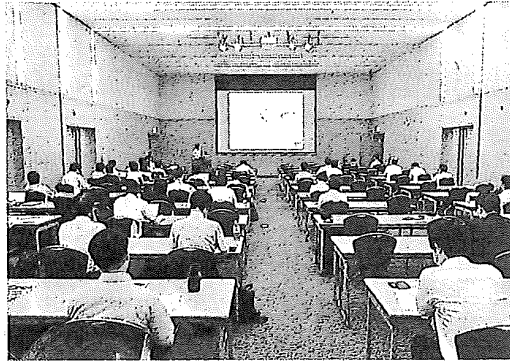


業務効率化等で活動報告 橋梁三力研究会が講習会



橋梁三力（ミリヨク）研究会は4日、福岡市博多区の福岡国際会議場で令和5年度の講習会を開催し、写真、若手技術者

らでつくるWG（ワーキンググループ）の代表者らが、橋梁業界の魅力発信や、業務効率化等のための事例集作成などに係

る活動成果を報告した。講習会は、福岡国際会議場で約40人が聴講したほか、オンライン方式でおよそ200人の技術者等が視聴した。

橋梁三力研究会は、建設コンサルタンツ協会九州支部とプレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部、日本橋梁建設協会九州事務所の3協会により組織。これら3協会の技術者等が連携して、業務の効率化や技術力の向上に係る検討・研究等を進め、橋梁建設に関わる入職者の確保・定着を図ることを目的としている。

講習会では冒頭、橋梁協九州事務所の池野隆雄副所長があいさつ。研究会設置の経緯や目的、この日のプログラム等について説明するとともに、「本日の講習会が、受講者の皆さんにとって今後の活動のヒントとなり、それぞれの仕事環境の向上の一助になることを願っている」とした。

この日のプログラムでは、研究会の「広報」「新技術」「技術作成資料」「留意点作成」という四つのWGが、それぞれの活動内容を報告。このうち広報WGでは、入職者の確保・定着、および若手技術者の知見を広げることなどを目的に見学会を行ったことや、インスタグラムを開設して若い技術者や広く市民に対し、橋の魅力を発信していることなどを説明した。

また、技術資料作成WGでは、若手技術者が業務や工事で活用しやすいよう「若手橋梁技術者向けの設計・施工のポイント」など、四つのテーマに関する技術資料を作成したことを報告。留意点WGでは、鋼橋設計およびPC橋設計における留意点を取りまとめたことを説明した。